

令和6年3月1日

四日市港長期構想検討委員会 第3回委員会 議事概要

日時: 令和6年3月1日(金) 15:00~17:00

場所: 四日市ポートビル 2階 大会議室

【委員①】

- 非常によくまとまっている。特に各委員から提示された課題が資料2、p65によくまとめられている。

【委員②】

- 資料2、p72、まちづくり、商業施設の建設を含める、という趣旨を盛り込めないか。現在は用途規制があるにしても、将来の形として書けないか。
- 資料2、p87、ゾーニング、中央通り再編を書き込んだのはよいが、色が薄くて目立たないので、改善してほしい。
- 【事務局】まちづくりは官民連携としているので、民の中に商業も含まれる。書きぶりについては、四日市みなとまちづくりプランの説明の中での表現等を踏まえ検討する。またゾーニングについては、その方向で検討する。

【委員③】

- 全体的によくできている。
- 変化に対応して規制の見直し等を積極的に働きかけていく姿勢をもう少し入れてもよい。例えば高圧ガス規制も昔から変わっていないので、時代に合わせて変えていく姿勢を示すべき。
- 課題の中でも例えば電子化等、行政で進められることは進めればよいが、基本的には何が課題であり、どう解決するかは、官民話し合っ解決策を模索していく姿勢が大事。
- 人口減について言及があり、縮小社会への対応が必要だが、これはしっかり書かれている。
- 災害対応については、まだやることはたくさんある。港湾は産業の基盤でもあるので、しっかり守る取組をしてほしい。

【委員④】

- 四日市港が進むべき道をしっかり示している。今後の実行に期待。
- 資料2、p64、政策の柱Iの「背後圏の持続的な成長を支える港づくり」、特に「臨港交通体系の充実・強化」に関心が高い。現在の港湾付近の交通渋滞が、道路体系の整備によって解消されることが、周辺住民にも利用企業にも望ましい。早期の実施に向けてできることは協力していきたい。

【委員⑤】

- よくできていると思う。
- 四日市港の長い変遷の中で、背後の産業も紡績、石油製品、自動車、半導体と変わってきた。今のままでは変化に対応できないので、官民協力して仕組みや法律を変えていくべき。
- 市民の思いを考えれば、港の古い部分と新しい部分には別々の対応が必要。古い部分は市民に親しまれる港に作り変え、産業には新しい部分で対応していくことが必要。四日市港でも旧港の四日市地区と新しい霞ヶ浦地区の取組は違うということを踏まえて、今後20年の指針にふさわしい構想を作してほしい。

【委員⑥】

- 今後、港湾計画改訂という形で長期構想を具体化していく作業を担当する。円滑な手続きに尽力したい。
- 様々な観点から地元をよく知る方々が作成したもので、よくまとまっている。
- 国としては、国際拠点港湾としての整備に協力していきたい。
- 地域に貢献する、なくてはならない存在として港を位置付けているので、多様な要請に応え、様々な機能が調和する港の実現に向けて、関係者が協力して取組を進めていただきたい。

【委員長】

- 委員のご意見を盛り込んでおり、概ねよくまとまったと評価いただいたと思う。

※修正については委員長と事務局にて行うことで閉会した。

以上